

ゴルフ文化の定着に向けた実践報告  
—「インターンシップⅠ」を中心として—

上村和美\*

浮田 泉\*

Kazumi UEMURA

Izumi UKITA

【抄録】

関西国際大学では、スポーツ庁事業の採択を契機として、**2020**年から**3**年間にわたって三木キャンパス内におけるゴルフ文化の定着を推進してきた。三木キャンパスでの展開を考える上では、必然的に経営学部が中心となるが、**2022**年はインターンシップの希望学生を市内**25**のゴルフ場のうち**6**カ所が受け入れてくださった。本稿では、特に**2022**年夏学期に実施した「インターンシップⅠ」の実施方法について報告することで課題整理を行い、次年度以降のプログラムの充実に繋げていくものとする。

Abstract

At Kansai University of International Studies, we have been promoting the establishment of golf culture on the Miki Campus for three years since 2020, taking advantage of the adoption of the Sports Agency project. In order to promote the establishment of golf culture on the Miki Campus, the Faculty of Business Administration will inevitably play a central role. The Faculty of Business Administration conducted an internship in the 2022 summer semester, and 6 out of 25 golf courses in Miki City accepted applications.

In this paper, we report on the implementation method of "Internship I", which was carried out in the summer semester of 2022, in order to organize the issues and lead to the enhancement of the program from the next year onwards.

キーワード： 地域連携、経験学習、インターンシップ、スポーツ、ゴルフ

Key Words : Local cooperation , Experience learning , Internship , Sports , Golf

I はじめに

関西国際大学（以下、本学）では、**2020**年度にスポーツ庁の「令和**2**年度大学スポーツ資源の活用による地域活性化拠点形成・大学スポーツアドミニストレーター配置支援事業」<sup>1</sup>（以下、スポー

---

\* 関西国際大学経営学部 地域研究所学内研究員

<sup>1</sup> この事業は、本学にスポーツ振興・地域活性化センターを設置し、新たにスポーツアドミニストレーターを配置、それらが中心となり、学内外の関連組織・団体と連携・協力し、本学や地域が持つ様々なスポーツ資源を活用しながら、学生スポーツの振興を図るとともに、**SDGs**とも連動させ、スポーツを通じた地域振興、地域防災力向上等の地域活性化施策を推進するというものである。

ツ庁事業と略す)に採択された。この採択をきっかけに、関西国際大学三木キャンパスでは、三木市の三大産業(金物、山田錦、ゴルフ)の中のゴルフ文化の定着に向けた実践を行ってきた。<sup>2</sup>

本稿は、スポーツ庁事業を通して、ゴルフ文化を三木キャンパス内に定着させるプロセスをカリキュラムとの関連において記録したものである。

## II 科目を軸としたゴルフ文化の定着

### 1. 三木キャンパス内における展開

2023年現在、関西国際大学には開設順に三木キャンパス(関西女学院短期大学として1987年、関西国際大学としては1998年)、尼崎キャンパス(2009年)、神戸山手キャンパス(2020年)が設置されている。三木キャンパスは兵庫県三木市に位置し、神戸市西区とも隣接しており、経営学部と保健医療学部がある。また、強化クラブとして指定されている硬式野球部、サッカー部、硬式テニス部の活動拠点も三木キャンパスおよび7丁目にある第二グラウンドであり、現在では強化クラブは、部員全員が経営学部に入學している。そのような関係から、スポーツ庁事業は、主として三木キャンパスで展開している。

表1はスポーツ庁事業として採択された2020年から現在までの、ゴルフ文化定着のための活動をまとめたものである。ゴルフ文化を浸透させるためには、カリキュラムとの関連を軸としている。主な科目は「生涯スポーツⅠ」(基盤教育・健康とスポーツ・1単位)と「インターンシップⅠ」(経営学部専門教育・展開科目・2単位)である。特に「生涯スポーツⅠ」は「生涯スポーツⅠ(ゴルフ実技)」と表記し、他の「生涯スポーツ」で扱う競技との視覚的な差別化を図っている。2020年当時の三木キャンパスには、現在の心理学部も移転前であったため、3学部の学生に受講機会があったわけである。科目と紐づけする理由は、ある程度の強制力を持たせるためである。単にゴルフの歴史を紹介するパネル展示を行うだけで、学生たちに興味関心を持たせることは難しい。ゴルフ部を創設するよりも、より広く、多くの学生が受講することで、確実にキャンパス内にゴルフ文化が定着していくのである。

2023年度冬学期に実施した「生涯スポーツⅠ(ゴルフ実技)」の内容(15コマ)は、表2のとおりである。スポーツ庁事業の補助金を充当させていた2020年度、2021年度は、授業の一部を公開講座として著名人の講演会を開催していたが、今年度はゴルフ実技のプログラムをキャンパス内に定着させることを主眼として組み立て直した。従来と異なる点は、ゴルフ実技の導入として三木キャンパスの多目的コートでの準備練習(2コマ)を加えたことである。これまでは、ゴルフ実技の部分は三木ゴルフ倶楽部で行っており、本格的ではあったが、初心者にとってはいささかハードルが高いものであった。そこで、まずはキャンパス内の多目的コートで、初心者向けにクラブを握る動作を確認し、練習用の穴あきボールを使ってスイングするなどの準備練習を取り入れた。これにより、ゴルフに関するウォーミングアップができた状態で、ゴルフ場での実践に移ることができた。

---

<sup>2</sup> このプロセスの詳細については『地域総合研究所研究叢書第1号』の「ゴルフ文化の定着に向けたプロセス報告—スポーツ庁委託事業を通して—」で述べている。

表1 スポーツ庁委託事業のうちゴルフに関連した活動

|                        |   |
|------------------------|---|
| 2020年9月1日              | 三木キャンパスに「スポーツ振興・地域活性化推進センター」設置              |
| 2021年11月               | 三木キャンパスメディアライブラリー（図書館）内にゴルフ関連図書のコーナー設置      |
| 2021年2月5日～10日          | 「生涯スポーツⅠ（ゴルフ実技）開講。受講者13名。                   |
| 2021年6月                | ゴルフサークル結成                                   |
| 2021年5月～12月            | オープンキャンパスにて三木キャンパス経営学部ブースでスナッグゴルフとパターゴルフの紹介 |
| 2021年8月                | 経営学部においてゴルフ場でのインターンシップ実施                    |
| 2021年10月               | 吉川高校訪問時にスナッグゴルフ体験プログラムを提供                   |
| 2021年11月2日             | 経営学部「プロジェクトマネジメント演習Ⅲ」で三木ゴルフ倶楽部を訪問           |
| 2021年11月20日            | インターンシップ受講者がスナッグゴルフ全国大会補助スタッフとして活躍          |
| 2021年12月17日～2022年2月21日 | 広野ゴルフ場前駅イルミネーション企画                          |
| 2022年2月7日～10日          | 「生涯スポーツⅠ（ゴルフ実技）開講。受講者10名。                   |
| 2022年8月～9月             | 三木市内ゴルフ場にて経営学部2年・地域マネジメント専攻のインターンシップ実施      |
| 2023年2月3日～8日           | 「生涯スポーツⅠ（ゴルフ実技）開講。受講者11名。                   |

表2 2022 冬学期「生涯スポーツⅠ（ゴルフ実技）」概要

| 月/日            | 場所         | 内容   |
|----------------|------------|--|
| 2/3（金）2,3,4限   | 三木キャンパス    | 2限:4-102 教室座学によるガイダンス<br>3-4限:多目的コートでの準備練習 |
| 2/6（月）1,2限     | 三木キャンパス体育館 | 体幹トレーニング                                   |
| 2/6（月）3,4限     | 三木ゴルフ倶楽部   | 鈴木規夫プロによるゴルフ実技指導                           |
| 2/7（火）1,2,3,4限 |            |  |
| 2/8（水）1,2,3,4限 |            |  |



図1 多目的コートでの準備練習の様子



図2 三木ゴルフ倶楽部内での実習の様子

また、「インターンシップ」は経営学部専門教育科目であると同時に、全学的には「経験学習」というカテゴリーに入るものである。「経験学習」については、大学ホームページで次のように定義している。

キャンパスを飛び出し、世界から、社会から学ぶ。このような学びを **KUISs** では「経験学習」と呼んでいます。キャンパスにとらわれず、あらゆる世界を学びのフィールドにし、地域や自治体、企業の具体的な課題に取り組みます。人、社会、文化に実際に触れる学びを通じて、コミュニケーション力や課題解決力などの実践的な能力を高める学びは、そのまま将来への道につながっています。（「経験学習」概要より）<sup>3</sup>

「経験学習」はさらに、海外経験学習（留学）：グローバルスタディと地域経験学習：コミュニティスタディに分類され、「コミュニティスタディ」は、地域での社会貢献活動を通じて学びを深める「サービスマーケティング」と、企業等での就業体験を通じて、自らのキャリア形成等に活かす「インターンシップ」とに下位分類されている。経営学部では、卒業要件として「グローバルスタディⅠ～Ⅳ」「サービスマーケティング A・B」展開科目の「インターンシップⅠ・Ⅱ」の中から2単位以上を修得することになっている。**2023**年度の三木キャンパスの地域マネジメント専攻の「インターンシップⅠ」は、三木市内**6**カ所のゴルフ場で実施した。卒業要件の中の選択にはなるが、強制力を持つことが可能となる。しかし、強制力を持つということは必ずしもゴルフに関する興味関心のもとに受講する学生ばかりではないという結果を生むこととなり、問題点ともなる。**2023**年度のゴルフ場でのインターンシップ実施については、Ⅲで詳述する。

## 2. 経営学部における経験学習の構造化

**2023**年現在、経営学部（募集定員**175**名）は三木キャンパスと尼崎キャンパスに分置されている。**2**キャンパスに分置されているのは、**6**学部の中でも経営学部のみである。

前述のように、三木キャンパスには運動部学生が大半を占めている。尼崎キャンパスは **JR** 尼崎

<sup>3</sup> <https://www.kuins.ac.jp/experience/index.html> より引用。

駅に隣接する都市型キャンパスであり、在籍学生はいわゆる一般学生が中心であるが、留学生も多く受け入れている。2つのキャンパスの特徴をより明確に打ち出していくために、2023年度からは表3のように各キャンパスの専攻を1専攻に絞った。

三木キャンパスでは、防災・危機マネジメント専攻が消滅したわけではなく、地域マネジメント専攻に包含されるイメージで、今後、地域マネジメント専攻は地域、防災、スポーツの3つの柱でカリキュラムを構築していくこととなる。その中で、コミュニティスタディのサービスラーニングとインターンシップをいかに有機的かつ重層的に組み込んでいくかが構造化のカギとなる。

また、有機的・重層的にするためには、他科目との連携も必須である。たとえば、1年春学期「初年次セミナー」、「サービスラーニングA」(夏秋)、2年春学期「ビジネスコミュニケーション技法」、「プロジェクトマネジメント演習Ⅱ」、冬学期「生涯スポーツⅠ」等との連携である。

### Ⅲ 2022年夏学期「インターンシップⅠ」

#### 1. 事前学修

##### 1.1. 「プロジェクトマネジメント演習Ⅱ」における事前学修

春学期の必修科目「プロジェクトマネジメント演習Ⅱ」において、2回にわたってゴルフに関する授業を行った。1回目は三木市ゴルフのまち推進課の特別講師による、三木市の産業としてのゴルフに関する講義であり、2回目はライオンズカントリー倶楽部<sup>4</sup>の支配人による、ゴルフ場でのマナー等、実践的な内容の講義であった。また、ゴルフを体験したことがない学生が大半を占めるので、学内で「スナッグゴルフ」の実習を行った。「プロジェクトマネジメント演習Ⅱ」の履修者の中には、ゴルフ場のインターンシップに参加しない学生も含まれているが、参加者にとっては事前学修としての位置づけとなった。

##### 1.2. 「インターンシップⅠ」履修者対象の事前学修

###### (1) 自己紹介スライド

昨年度、インターンシップを受け入れていただいた際、事前に参加学生について知っておきたいというご意見があった。春学期開講科目の「ビジネスコミュニケーション技法」では、インターンシップ参加にあたっての自己分析を行ってスライドにまとめているので、これを事前にお渡しすることにした。スライドの構成は次のとおりである。

- ① 関西国際大学はどんなところか紹介する
- ② 自分自身がこれまで関西国際大学で学んできた内容を時系列でまとめる
- ③ インターンシップに参加して、学びたいこと

「ビジネスコミュニケーション技法」は必修科目ではないので、未履修者はインターンシップの

---

<sup>4</sup> 兵庫県三木市にある PGM グループのゴルフ倶楽部。 <https://www.pacificgolf.co.jp/lions/>参照

参加が決まった時点で、自己分析を行ってスライドを作成した。これ以外に、参加学生の顔写真があった方がよいというご意見があったので、次年度はスライドの中に顔写真を入れることも検討する。

## **(2) 必要書類の確認**

インターンシップ参加にあたって、学生が受入先へ「誓約書」を提出する。本インターンシップでは、実習を行う各ゴルフ倶楽部宛ではなく、三木市ゴルフ協会に「誓約書」(図3)を提出している。

実習先がゴルフ場ということで、公共交通機関を利用しての通勤ができない。原付、自動車を使用することになるため、本学では「自動車使用願」の提出を求めている。通学に原付、自動車を使用していない学生については「通学許可証」がないので、任意保険の写し、保護者の同意書、運転免許証の写しを添えて、許可を受ける必要がある。自転車通勤を希望する学生もいたが、ゴルフ場の立地によっては自転車では困難であると思われるので、原付または自動車(同乗も含む)の利用とした。なお、周辺道路において危険を伴うため、自転車通勤を禁止されているゴルフ倶楽部もあった。

## **(3) 実習先に関する学習**

後述するスケジュールの調整が困難で、学生に直前まで実習先を知らせることができなかったため、学生は実習先に関して学習する機会を持てなかった。三木市ゴルフ協会様より「スポーツ報知」制作のタブロイド判を提供していただいたので、これを使用して各自の実習先となるゴルフ場の特徴などを学習した。また、グループワークにより、三木市のゴルフ産業について復習し、実習先以外のゴルフ場についても比較しながら予備知識を獲得することとした。

## **(4) 法令遵守**

インターンシップでの重要な事項に、法令遵守・就業規則遵守がある。法令遵守違反・就業規則遵守違反は、企業イメージの失墜に直結することから、インターンシップ生であっても企業の社員として振る舞うべきであることを強調した。また、守秘義務はインターンシップ終了後にも課されるものであり、実習が終了しても実習先の情報は守るべきことを認識させた。

誓 約 書

(様式4)

三木市ゴルフ協会 御中

この度、貴校においてインターンシップ実習を行うにあたり、実習に専念するとともに、下記の事項を遵守することを誓約いたします。

記

1. 実習期間中は、貴校の校規規則とこれに基づく階級規則の定めに従います。
2. 貴校の階級規則を守り、実習期間中は貴校の管理、監督の指示に従います。
3. 貴校の階級秩序を守り、関西国際大学の学生としての品位と勇姿を損なうことはいたしません。
4. 実習に際しては、次の事項を遵守します。
  - (1) 貴校の名誉を毀損するような言動は行いません。
  - (2) 貴校の営む事業を阻害するような言動は行いません。
  - (3) 実習上知り得た貴校及びその関係する相手方の秘密に属するものは、実習中及び実習終了後においても一切漏らしません。
5. 実習中の事故等に備えて、『学生教育研究災害被害保護』と『学研災害等賠償責任保険』に加入することとし、自己の不注意により第三者に被害を受けた場合の処理については、貴校に迷惑をかけることなく、自己の責任において対応します。
6. 故意あるいは過失により、貴校及びに第三者に対し損害を与えたときは、自ら責任を負います。
7. 無断で欠勤・遅刻・早退はいたしません。やむをえない場合は事前に連絡いたします。

令和4年 月 日

関西国際大学 経営学部経営学科2年

代表者

代表者(親類)

氏 名

印



図4 「スポーツ報知」制作のタブロイド判

図3 インターンシップ 誓約書 様式

## 2. 現地での実習

### 2.1 ゴルフ場での実習スケジュール

三木市ゴルフ協会を通じて、インターンシップの受入を依頼したところ、6か所のゴルフ倶楽部から受入の承諾をいただいた。2年生の地域マネジメント専攻59名のうち、「インターンシップⅠ」の履修を希望した50名について、各ゼミ内で3名～4名のグループを構成した。履修登録後は、原則としてインターンシップの参加を取りやめることはできないが、約10名が参加できなくなった。期間中に体調不良により公欠が認められた場合は、履修取消とし、それ以外の自己都合により参加できなくなった学生は、資格喪失とした。

各ゴルフ倶楽部の受入可能人数と受入不可日(表3)を考慮して、15グループ(Aグループ～Oグループ)のスケジュールを決定した(表4)。4日間を1クールとして、2か所の異なるゴルフ倶楽部で実習できるように組み合わせている。

受け入れの準備をしていただいたにもかかわらず、多くの学生が所属する強化クラブ内において感染者が出たため、8月中旬は予定通りの実施ができなくなった。しかしご好意により、急遽、9月に追加日程をご検討いただき、学生は予定日数の実習を経験することができた。日程の変更や予定よりも日数や受入れ人数が多くなるなど、受入先のゴルフ倶楽部には多大なご迷惑をおかけするこ

とになった。

表3 各ゴルフ倶楽部の受入可能人数と受入不可日

| 倶楽部名  | 受入可能人数      | 不可日          |
|-------|-------------|--------------|
| 倶楽部 1 | 4           | 9月5日         |
| 倶楽部 2 | 3           | 8月いずれか平日     |
| 倶楽部 3 | 6名*2回まで     | 8/15-19      |
| 倶楽部 4 | 3           | 8/1, 8, 29   |
| 倶楽部 5 | 4           | 9/1-7, 15-19 |
| 倶楽部 6 | 3~8 (4名上限班) | なし           |

表4 15グループのインターンシップスケジュール

| 8月    |                    |             |         |                    |               |         |         |         |         |         |         |                |         |         |         |
|-------|--------------------|-------------|---------|--------------------|---------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------------|---------|---------|---------|
| 倶楽部名  | 2日 (火)             | 3日 (水)      | 4日 (木)  | 5日 (金)             | 6日 (土)        | 9日 (火)  | 10日 (水) | 11日 (木) | 12日 (金) | 13日 (土) | 14日 (日) | 15日 (月)        | 16日 (火) | 17日 (水) | 18日 (木) |
| 倶楽部 1 | 事前学修<br>(学内・全グループ) | A           |         |                    |               | C       |         |         |         |         |         |                |         |         |         |
| 倶楽部 2 |                    |             |         |                    |               |         |         |         |         |         |         | E              |         |         |         |
| 倶楽部 3 |                    |             |         |                    |               |         |         |         |         |         |         |                |         | F・G     |         |
| 倶楽部 4 |                    |             |         |                    |               |         | K       |         |         |         |         | H              |         |         |         |
| 倶楽部 5 |                    | B           |         |                    |               | D       |         |         |         |         |         |                |         |         |         |
| 倶楽部 6 |                    | C・D         |         |                    |               | A・B     |         |         |         |         |         | I・J            |         |         |         |
|       |                    |             |         |                    |               |         |         |         |         |         |         |                |         |         |         |
| 8月    |                    |             |         |                    |               |         |         |         |         |         |         |                |         |         |         |
| 倶楽部名  | 19日 (金)            | 20日 (土)     | 21日 (日) | 22日 (月)            | 23日 (火)       | 24日 (水) | 25日 (木) | 26日 (金) | 27日 (土) | 28日 (日) | 29日 (月) | 30日 (火)        | 31日 (水) |         |         |
| 倶楽部 1 |                    | M           |         | スホーツ報知ジュニアゴルフ選手権大会 | M             |         |         | L       |         |         |         |                |         |         |         |
| 倶楽部 2 |                    | L (9/15～延期) |         |                    | L (9/15～延期)   |         |         | O       |         |         |         |                |         |         |         |
| 倶楽部 3 | F・G                |             |         |                    |               |         |         |         |         |         |         | I・J            |         |         |         |
| 倶楽部 4 |                    | O           |         |                    | O             |         |         |         |         |         |         | F              |         |         |         |
| 倶楽部 5 | N                  |             |         |                    | N             |         |         | K       |         |         |         |                |         |         |         |
| 倶楽部 6 | E・H (8/29～延期)      |             |         |                    | E・H (8/29～延期) |         |         |         |         |         |         | E・H (8/29～9/1) |         |         |         |
|       |                    |             |         |                    |               |         |         |         |         |         |         |                |         |         |         |
| 9月    |                    |             |         |                    |               |         |         |         |         |         |         |                |         |         |         |
| 倶楽部名  | 1日 (木)             | 2日 (金)      | 3日 (土)  | 4日 (日)             | 5日 (月)        | 6日 (火)  | 7日 (水)  | 8日 (木)  | 9日 (金)  | 10日 (土) | 11日 (日) | 12日 (月)        | 13日 (火) | 14日 (水) | 15日 (木) |
| 倶楽部 1 |                    |             |         |                    |               |         |         |         |         |         |         |                |         |         |         |
| 倶楽部 2 |                    |             |         |                    | G             |         |         |         |         |         |         |                |         |         | L       |
| 倶楽部 3 | I・J                |             |         |                    |               |         |         |         |         |         |         |                |         |         |         |
| 倶楽部 4 | F                  |             |         |                    |               |         |         |         |         |         |         |                |         |         |         |
| 倶楽部 5 |                    |             |         |                    |               |         |         |         |         |         |         |                |         |         |         |
| 倶楽部 6 | M・N                |             |         |                    |               |         |         |         |         |         |         |                |         |         |         |

## 2.2 ゴルフ場での実習内容

6カ所のゴルフ倶楽部様では、それぞれ4日間の実習内容を組み立てていただいた。新入社員用の研修プログラムを活用されるところや、インターンシップ用に計画されるなど対応は様々であるが、学生ができるだけ多くの経験ができるようにバラエティに富んだ内容になっていた。





図5 ゴルフ場でのインターンシップの様子

学生の日報によると、座学、マスター室業務、ポーター業務、コース管理業務、キャディ業務、フロント業務、食堂業務など、ゴルフ場でのあらゆる業務を経験できるように計画されていた。それぞれの部署において、業務に関する事項、特に気をつけることなどの指導を受けながら、コミュニケーションの重要性を学ぶことができた。また、練習場やコースで、学生がゴルフを体験できる時間を設けられているところもあった。インターンシップ期間終了後に、ゴルフに興味を持って練習場に行くようになった学生もいるので、「インターンシップⅠ」は、若者にゴルフ文化が浸透するきっかけになる授業であると思われる。

## 2.3 大会運営サポート

インターンシップの活動の一環として、8月22日(月)の「スポーツ報知ジュニアゴルフ選手権大会」、10月29日(土)の「スナッグゴルフ対抗戦JGTOカップ全国大会」のいずれかの大会に参加することを義務付けた。野球やサッカーの強化クラブ生が多数であり、スポーツ競技には馴染みが深い。が、ゴルフ経験のない学生にとっては、大会の流れを把握できず、指示された業務を理解して遂行することが困難であり、過酷な一日となった。特に、成績の記録を担当した学生は、自分のミスで勝敗が変わってしまうので、非常に責任が重く緊張する業務であったとふりかえっている。

大会運営サポートに関しても、感染症の影響で8月の参加者を見直さざるを得なくなり、「インターンシップⅠ」の履修者以外にも参加を要請するなど、当日まで体調不良者等の対応に追われた。

## 2.4 ゴルフ・ミュージアムの見学

三木キャンパスからも近い廣野ゴルフ倶楽部<sup>5</sup>内にJGA (JAPAN GOLF ASSOCIATION) ゴルフ・ミュージアム<sup>6</sup>がある。予約制で一般公開されている施設で、指定された時間内で少人数単位

<sup>5</sup> 兵庫県三木市にあり、1932年設立の由緒あるゴルフ倶楽部である。<https://hironogolfclub.jp/>

<sup>6</sup> 日本ゴルフ協会創立55周年記念事業の一つとして設立されたミュージアムである。約2,000点の展示品が揃っており、世界で三番目の規模である。

での見学が許可されたので、グループごとに日程を決めて見学を行った。廣野ゴルフ倶楽部は日本一のゴルフ場であり、厳格なドレスコードが定められていることから、服装を指定して訪問することにした。ゴルフ場での実習だけでなく、貴重な資料を目にできたことは、ゴルフ文化の定着を考えるうえで、効果的であったと考える。

### 3. 活動中の出席管理・記録

日々の活動開始・活動終了については、グループリーダーがグループ **LINE** で、出席状況等を科目担当者（アドバイザー）に報告することにした。また、活動終了後から当日中に、各自が日報を入力することを義務付けた。日報の内容は、①当日朝の体温、体調不良の場合はその内容、②本日の活動内容を午前と午後に分けて入力、③本日の活動を通じて学んだこと、④本日の活動の反省点、指示されたこと、の4点である。

科目担当者は、各グループの活動初日、または活動中に実習先を訪問して、学生の状況を確認した。学生が活動中の状況を記録することで、科目担当者は各学生の状況を知ることができ、また学生はふりかえりの際の材料となる。しかし、慣れない活動の疲れもあり、日報の入力が遅れるケースも見受けられた。

### 4. コロナ禍における実施の注意点

インターンシップ受入先から、1 か所目の実習初日に **PCR** 検査の結果を提示することを求められた。事前学修の際に、**PCR** 検査が受けられる大学近隣のドラッグストアや医院、三宮の検査施設を紹介し、各自の実習日程に合わせて **PCR** 検査を受けるように指示した。しかし、次のような問題があった。

- ① **2022** 年 **7** 月～**8** 月頃は、感染者数が増加した時期であり、検査の予約が非常に取りにくい状況になっていた。
- ② 検査施設によっては、検査結果が出るまでに検査日を含めて **3** 日かかった。また、検査結果の有効期間は検査日から **3** 日間であるので、お盆休みにかかる有効な検査結果を持参できないことがあった。
- ③ 兵庫県民であれば、大学近隣の医院等で無料の検査を受けることができたが、住民票を移していない学生は実家に戻って受けるか、検査料を支払って受けなければならなかった。

ほとんどの学生は、陰性の結果を持参して実習に参加することができたが、若干名は陽性であることが判明して、インターンシップの履修を取り消すことになった。

日々の体調管理については、前述の日報の中で、当日朝の体温を記録することにして、各自が体調を確認するようにしていた。体調不良の場合はその内容を記録することとしていたが、感染症対策としては、すぐに保健室に連絡をして指示を仰ぐことになっており、体調不良の状態でインター

---

<http://www.jga.or.jp/jga/html/museum/index/index.html> 参照。

ンシップに参加することはなかった。

## 5. ルーブリックによる評価

### 5.1. 評価項目の選択

受入先には事前にルーブリック（表5）を提示し、**10**項目のうちから**3**つを選んで、評価していただくことを依頼した。選択された項目は表6のとおりで、「自律性」、「社会的貢献性」、「情報収集・活用力」、「意見交換・調整力」を評価対象として選択されたゴルフ倶楽部が複数あった。一方、「論理的／判断力」、「問題解決力」、「専門的知識・技能の活用力」を選択されたゴルフ倶楽部はなかった。これは、**4**日間が**1**クールであるため、短期間でこれらの項目を評価することはできないと判断された結果であると思われる。

### 5.2. 評価の平均点

複数のゴルフ倶楽部が選択された**4**項目について、評価の平均点は表7のとおりである。各ゴルフ倶楽部での参加学生数にも違いがあり、平均値で比較することは必ずしも適切ではないが、ゴルフ倶楽部によって評価に差があることがわかった。また、何よりも評価は学生の意欲や実力を示すものである。今後は、各ゴルフ倶楽部の評価の差よりも、各学生が**1**か所目よりも**2**か所目で評価が上がっているか等、学生の変化をみることも必要であると考えている。

### 5.3. 評価に関するコメント

評価レベルとともに、どの場面（行動）により評価されたかについてもコメントをしていただいた。複数のゴルフ倶楽部が選択された**4**項目に関する主なコメントは、表8のとおりである。同時に複数の学生が参加しているにもかかわらず、個々の学生の行動を観察し、評価していただいていることが明らかになった。

一方で、ルーブリックの評価レベルが高く、評価しにくいというご意見もあった。評価者による調整も行っていないので、表7に示したようにゴルフ倶楽部によって評価に差があった。ゴルフ倶楽部によっては、すべての項目に関して、レベル**1**またはレベル**2**の評価をされたケースもあった。ルーブリックの内容、レベルに関しては、今後の検討事項である。

表5 インターンシップ ルーブリック

| 項目名            | 項目の説明  | レベル4  | レベル3  | レベル2   | レベル1   | どの場面（行動）により、左記の評価となりましたか |
|----------------|--|---|---|--|--|--------------------------|
| □ 自律性          | 自分の目標をもち、その実現のために、自らを律しつつ意欲的に行動することができる            | □自ら目標をもち、主体的に計画・実行・確認を繰り返し、経験を生かしながら新たな課題に挑戦することができる                    | □自ら目標をもち、主体的に計画を立て、進捗状況や目標の達成状況を確認しながら実行することができる      | □やらなければならないことを、計画を立てて最後までやり遂げることができる                   | □やらなければならないことを、決められた期日までにやり遂げることができる             |                          |
| □ 社会的貢献性       | 集団や社会のために他者とともに行動し、貢献することができる                      | □他者と協働しながら、集団や社会への貢献に、より多くの人が参画できるように展開することができる                         | □他者に協力を呼びかけながら、自主的に集団や社会に貢献することができる                   | □他者と協力しながら、集団や社会への貢献に参加することができる                        | □身近な場で、困っている人を助けすることができる                         |                          |
| □ 多様性理解        | 世界に住まう人々の文化や社会が多様であることに理解を深め、世界市民として行動できる          | □自分とは異なる価値観や考え方を持つ人々の社会的・文化的背景を尊重し、差別などの社会的不正義の解消に乗り出すことができる            | □自分とは異なる価値観や考え方を持つ人々の社会的・文化的背景を尊重しながら、その人々と交流することができる | □自分とは異なる価値観や考え方を持つ人々の社会的・文化的背景を理解し、違いがあることを受け入れることができる | □自分とは異なる価値観や考え方を持つ人々がいることを理解し、自分たちの違いを説明することができる |                          |
| □ 問題発見力        | 根拠に基づく問題発見ができる                                     | □複雑な問題を分析し、複数の原因をとらえ、それらの関係を整理することができる                                  | □問題の背景や状況を理解し、原因を見きわめることができる                          | □普段から問題がないか注意を払い、何が問題なのかを理解することができる                    | □社会の中で問題になっていることを、理解することができる                     |                          |
| □ 論理的思考 / 判断力  | 問題解決に向けたアイデア構想、思考力や判断力                             | □論理的に整合するように、自らの主張を論証できる  | □データにもとづいて論理的な意見や判断を導き出すことができる                        | □根拠を示しつつ意見や判断を示すことができる                                 | □ものごとを客観的に捉え、事実と意見を区別することができる                    |                          |
| □ 問題解決力        | 統合的な問題解決力  | □問題の背景や状況をふまえて、解決につながる提案を行い、実行できる                                       | □問題の背景や状況をふまえて、解決策を提案できる                              | □問題の解決のために行動することができる                                   | □問題の解決のために、自分なりの意見を出すことができる                      |                          |
| □ 情報収集・活用力     | 読む・聴く・整理する   | □必要かつ信頼できる情報を、国内外を問わず広範な情報源から集めることができ、自分の主張やアイデアの裏づけとして活用できる            | □必要かつ信頼できる情報を自分の主張やアイデアの裏づけとして活用できる                   | □多様な情報源から、必要かつ信頼できる情報を集め、要点を整理できる                      | □与えられた情報源から必要な情報を集めることができる                       |                          |
| □ 情報発信力        | 書く・話す・伝える  | □言語的・非言語的な表現方法を活用して知見や考えをわかりやすく表現し、相手とのやりとりを踏まえつつ、理解してもらえようように伝えることができる | □言語的・非言語的な表現方法を活用して、内容の構成を工夫しながら、知見や考えが相手にわかりやすく伝えられる | □言語的な表現だけでなく、非言語的な表現方法も活用して、決められた条件の中で、知見や考えを表現できる     | □決められた条件の中で、自分の知見や考えを表現できる                       |                          |
| □ 意見交換・調整力     | 自分の考えを的確に表現し、意見を交わすことができる                          | □異なる文化や価値観の人々と、お互いの価値観を尊重しつつ意見を調整し、互いに納得できる結論を得ることができる                  | □他者の主張を理解して、自分の意見と他者の意見を調整して、互いに納得できる結論を得ることができる      | □自分の意見に対する他者の発言の論点を理解したうえで、自分の意見を示すことができる              | □他者の発言を聞いた上で自分の意見を伝えられる                          |                          |
| □ 専門的知識・技能の活用力 | 自ら学ぶ学位プログラムの基礎となる専門的知識・技能を修得し、実務を想定した場面で活用することができる | □専門分野について修得した知識・技能を、実際の想定した場面で活用し、適切な行動をとることができる                        | □専門分野について修得した知識・技能を用いて、様々な現象を説明し、評価・改善・提案することができる     | □専門基礎知識・技能を相互に関連づけ、その概念を使って学んだ内容を説明できる                 | □専門的知識の獲得に必要な文献・資料を正確に理解し、重要かつ基礎的な概念を説明することができる  |                          |

表6 評価項目

| 項目       | 倶楽部数 |
|----------|------|
| 自律性      | 4    |
| 社会的貢献性   | 3    |
| 多様性理解    | 1    |
| 問題発見力    | 1    |
| 情報収集・活用力 | 4    |
| 情報発信力    | 1    |
| 意見交換・調整力 | 4    |

表7 複数のゴルフ倶楽部が選択された項目の平均点

|      | 自律性  | 社会的貢献性 | 情報収集・活用力 | 意見交換・調整力 |
|------|------|--------|----------|----------|
| 倶楽部1 |      |        |          |          |
| 倶楽部2 |      | 1.67   | 1.56     | 1.67     |
| 倶楽部3 |      | 2.00   | 2.00     | 2.00     |
| 倶楽部4 | 3.30 |        |          | 3.00     |
| 倶楽部5 | 2.27 |        | 2.64     |          |
| 倶楽部6 | 1.39 | 1.71   | 1.18     | 2.27     |
| 平均点  | 2.32 | 1.79   | 1.85     | 2.24     |

表8 評価に関する主なコメント

|          |  |
|----------|--|
| 自律性      | インターンシップの趣旨を理解し、期間中取り組むことができていた。                                 |
|          | 何事にも前向きに取り組んでいました。   |
|          | 冷静に周りの状況をみて行動ができます。  |
|          | 責任感をもって行動をしてました。   |
|          | グループワークも積極的に参加してました。   |
|          | 決断力があり、たのしい  |
|          | 業務を効率よく行う姿勢  |
|          | あまり自主性が感じられないが、コツコツと目標に向かっていけるタイプ。                               |
|          | 2日目ネームプレート紛失した事を、最終日に報告あり。悪い事は、一番に報告する事を、意識して欲しい。                |
|          | お昼休憩時の寝坊   |
| 社会的貢献性   | 自ら積極的に行動しチームをまとめ、他者に行動を促す場面が確認できた                                |
|          | 各々の業務内容を理解し、協力し真面目に取り組んでいた。嫌な仕事でも積極的に取り組んでいた。リーダーシップを発揮していた。     |
|          | 各セクションにおける仕事の意味・役割を理解し行動できている                                    |
|          | フロント・コース管理の場面で積極的な他者と協力し業務を行う姿勢が確認できた                            |
|          | フロント体験の場面で教えられたことを自発的に練習し一担当者としての自覚が見えた。ポーター体験の場面では、自らの役割を理解していた |
|          | フロントの場面で指示を待たずに自ら行動を起こす場面が見られた                                   |
|          | ポーターの場面ではいち早く内容を理解し、チーム内での役割を決めて行動を行っていた。チーム内の調整力がある             |
|          | 全ての場面において自主的な行動が見られなかった  |
|          | 積極的な行動がある一方で意見交換については消極的な印象                                      |
|          | 各々の業務内容を理解していたが、自ら積極的な行動は、あまり見られなかった。                            |
| 情報収集・活用力 | 指示した事をよく聴き理解し忠実に活動出来ていた。従業員の動きを良く観察していた。                         |
|          | 会話や講義した内容に興味を持ち、内容を理解していた。ゴルフ場の職員の働きを良く見ていて、業務に活かしていた。           |
|          | 全体的に熱心な姿勢であり、必要な情報を整理して先回りした行動ができている                             |
|          | 教えてもらったことはきちんとメモを取り、その後の仕事に活用することができた。                           |
|          | スタッフとのコミュニケーションを含め、次に何をすべきかなど、情報を得て行動している姿が多く見受けられた。             |
|          | コース管理の場面で指導者の説明を聞いたうえで自ら考え内容を整理できていることが確認できた                     |
|          | 他ゴルフ場との違いについて自らの言葉でわかりやすく説明を行う事が出来ていた                            |
|          | 興味のある状況についてはメモをとる姿勢が見られた   |
|          | 情報の収集のみにとどまっていた  |
|          | 率先して動かない   |
| 意見交換・調整力 | 「なぜ、いまこの作業が必要なのか？」を考え、行動しようとする姿勢が感じられた。                          |
|          | 他者の発言を聞いた上で理解し、自分の意見を積極的に発言出来ていた。                                |
|          | しっかりと質問を行ったうえで、自らの意見を示すことができていた                                  |
|          | コース管理の場面で仕事の内容を理解し自らの考えをもって行動していることが確認できた                        |
|          | 指示に対して疑問点に対して積極的に質問を行い理解したうえで行動を起こすことができていた                      |
|          | 非常にスタッフと連携をとり、業務を行う姿が見られた  |
|          | フロントの場面で学生通しで意見を交わし協力する姿勢が見られた                                   |
|          | 全ての場面で、スムーズにスタッフ間のコミュニケーションを取ることができており自らの意見を述べる場面も見られた。          |
|          | 積極的に意見等発言する行動は見られなかったが、他者の発言は良く聞いていた。                            |
|          | 積極的な意見交換を行う場面が確認できなかった   |

#### IV 2022 年秋学期「プロジェクトマネジメント演習Ⅲ」におけるふりかえり

##### 1. お礼状の送付

事前学修の中で、実習終了後、速やかに各自が実習先のゴルフ倶楽部にお礼状を書けるように、手紙、封筒の書き方など基本的なことも指導した。しかし、実習の日程が連続していた場合や、強化クラブの練習スケジュールによっては時間に余裕がなく、お礼状を書くタイミングを逸した学生が少なからずいた。また、実習が終わったことで完全に開放された気分になり、お礼状のことを忘れてしまった学生もいた。

教員は複数の異なるグループを担当しており、グループによって終了の日程が違うこともあって、

インターンシップ終了後の指導が行き届かなかったことが反省点である。

## 2. 事後学修

「インターンシップⅠ」は夏学期科目として開講しているが、スケジュールの変更があったことや大会運営サポートが10月にもあったため、夏学期中に事後学修を実施することができなかった。今年度の総合演習科目「プロジェクトマネジメント演習Ⅱ・Ⅲ」の中で、取り組んだプロジェクトの一つとして「ゴルフ文化の定着」があった。そこで、秋学期の「プロジェクトマネジメント演習Ⅲ」の中でインターンシップのふりかえりを行うことで、プロジェクトの取り組みを深めることができるようにした。

「プロジェクトマネジメント演習Ⅲ」の中でのグループ分けは、次のように工夫した。「インターンシップⅠ」の履修者に関しては、同じ実習先に行ったメンバーが集まらないように、異なる実習先のメンバーを組み合わせた。そして、ゴルフ場でのインターンシップに参加しなかった学生が分散するようにして、5～6名のグループを組んだ。このグループ構成により、自己の経験をわかりやすく説明することができ、聞き手は客観的な視点で質問をすることができた。

## 3. ゴルフ文化の定着に向けた提案の策定

インターンシップのふりかえりの後、グループごとにゴルフ文化の定着に向けた提案を策定した。ゴルフ文化を定着させるためには、「ゴルフのまち三木」としての知名度をアップすることが必要であるという観点で、各グループが提案した。例えば、三木市のゴルフ場の素晴らしさを伝えることで、女性や若年層ゴルファーを増やすという提案や、マナーや費用面から若者がゴルフに取り組みにくいという問題点を指摘し、小中学校でのゴルフ体験やビギナーから上級者までの大会を開催することで、三木市民にゴルフを広める方策が提案された。また、観光と結び付けて、三木市外からの利用者を増やす方策も提案された。

「プロジェクトマネジメント演習Ⅲ」では、「ゴルフ文化の定着」以外にも取り組んでいるプロジェクトがあったことも一因ではあるが、いずれの提案も十分な内容とはいえない。プロジェクトを継続して、充実させていきたいと考えている。

## 4. ふりかえりレポート

実習終了直後ではなく、秋学期の「プロジェクトマネジメント演習Ⅲ」での取り組みも踏まえて、秋学期終了時点でインターンシップのふりかえりレポートの作成を課した。レポートに含める内容として、①2つのゴルフ場を比較してわかったこと、②大会サポートでの気づき、③今後のキャリアプランや就職への意識で参考になったことを指定した。夏学期から時間をかけて、内化、外化、再内化を行うことができた。

## V おわりに：定着に向けて

スポーツ庁事業に採択されたことをきっかけとして、**2020** 年度から「生涯スポーツⅠ（ゴルフ実技）」を開講し、**2022** 年には**3** 年目を迎えた。また、**2021** 年度からは経営学部（三木キャンパス）の「プロジェクトマネジメント演習Ⅲ」にゴルフ場見学を取り入れ、ゴルフ文化の浸透を図ってきた。さらに、**2022** 年度の「プロジェクトマネジメント演習Ⅱ（春学期）・Ⅲ（秋学期）」では、プロジェクトテーマの**1** つに「ゴルフ文化の定着」を掲げ、同年夏学期「インターンシップⅠ」では市内**25** のうちの**6** つのゴルフ場に受け入れていただき、廣野ゴルフ倶楽部内のミュージアム見学も実施した。以上のように、過去**3** 年にわたってゴルフ文化の定着に向けての活動を行ってきたのだが、まだ改善が必要な点も多い。

特に「インターンシップ」については次年度以降に向けて改善すべき点が多くある。事前学修の充実や活動期間中の担当教員による巡回方法の再検討、受入先の評価についても課題は多い。また、現在は三木キャンパスの学生のみを対象としているが、次年度以降は尼崎キャンパスとも情報を共有し、希望者を受け入れていく必要もある。

「生涯スポーツⅠ（ゴルフ実技）」は、同キャンパスの保健医療学部や他キャンパスの他学科にも受講者を拡張し、三木キャンパスの特色として打ち出せる情報発信も必要である。スポーツ庁事業が終了したことで、今後はさらに三木市ゴルフ協会と連携し、地域に向けた「公開講座」の要素を含んだ授業内容へ再編し、三木市に唯一の大学としての存在価値を見出していかなければならない。

## 謝辞

三木キャンパスにおけるゴルフ文化定着のための一連の活動は、三木市ゴルフのまち推進課ならびに三木市ゴルフ協会、多数のインターンシップ学生を受け入れていただいた三木市内の各ゴルフ場様のご協力のもとに実施されています。ここに記して、心より感謝申し上げます。

## 【参考・引用文献】

上村和美 「ゴルフ文化の定着に向けたプロセス報告—スポーツ庁委託事業を通して—」『地域総合研究叢書』第**1**号、pp.51-6, **2022**

「関西国際大学二十周年記念行事プロジェクト編『二十周年記念誌 カリヨンの風』 関西国際大学 **2006** 年

三木市ゴルフのまち推進課ホームページ URL:<https://www.city.miki.lg.jp/soshiki/88/> (2023 年 1 月 31 日閲覧)

